

## 2016年を迎えて



謹んで新春をお祝い申し上げます。本年も社員一同、「こわくなく、くるしくなく、さびしくなく」という考え方のもと、より良い医療・介護の提供を目指す所存です。

当院ではお正月の準備として、昨年末にお餅つきをいたしました。患者様にご指導いただき、試行錯誤しながら写真にあります鏡餅を作ることができました。

2016年は申年。「申年に赤い下着を着ると病が治る」という言い伝えを耳にしたことがある方も多いのではないのでしょうか。「申(サル)」と、「悪いことが去る」「病が去る」といった語呂をかけて、申年は縁起が良いと言われています。赤も「めでたい色」とされ、「申年の下着」と幸福を結びつける説が各地方に残っているそうです。皆様にとってもご多幸がある一年になりますようお祈り申し上げます。



## シリーズほっとホスピタル第6回 ～問題行動と徘徊～

前回、「問題行動」という言葉を用いてお話をしましたが、先日メディアで「徘徊」という単語を使わない取り組みが紹介されていました。徘徊というのは「あてもなく歩く」という意味になりますから、認知症の人に使うのは不適切ではないかというものです。この2つの言葉の問題、ただの言葉狩りではないのかという意見もありますが、近年認知症に関する研究が深まると共に、私自身もこの言葉については見直す必要があるのではないかと思います。

「問題行動」というのは、食べ物ではない物を口にする(異食)、急に怒る(易怒性)、便を触る(弄便)など、健康な人には理解しがたい認知症の人の行動を指します。「徘徊」もこの

問題行動に含まれます。さてこの2つの言葉、誰の視点から表現された言葉か分かりますか。2つとも、認知症の人以外の視点から認知症の人を表現した言葉なのです。つまり、私たちにとって理解しがたい、意味のない、対処に困る行動を「徘徊」や「問題行動」という言葉で表現したのです。

それでは認知症の人は本当に意味もなく歩き回ったり、怒ったりしているのでしょうか。実はそうではありません。言葉では上手く説明できなくても、場にそぐわなくても、本人は明確な意味を持って行動しているのです。それが理解できたからこそ、私たちは身体拘束を外すことに成功したと言っても過言ではありません。



3階病棟では昨年度、係り活動として身体拘束解除に取り組みました。3月に行われた係り活動報告会では、他病棟の職員に向けて取り組み内容とその結果について報告を行いました。

## クリスマス会



12月25日、今年もクリスマス会が開催されました。聖歌隊メンバーは11月から毎週練習を積んできました。当日も午前中からリハーサルを行い、全体の流れを確認したりと大忙し。お揃いの衣装を身に付け、本番に臨みました。

職員によるクラリネット演奏のあと、いよいよ登場。とある病棟では患者様と一緒に赤い鼻を付けながら、クリスマス・メドレーを披露しました。きよしこの夜では患者様にハンドベル

を演奏していただき、優しい音色に合わせて美しいハーモニーを響かせました。

最後にはベートーベンのよるこびの歌をドイツ語で歌いあげ、患者様やご家族様、病棟職員から盛大な拍手をいただきました。

毎年新たなチャレンジをしている聖歌隊。来年もどうぞお楽しみに。



(上) 病棟にはサンタクロースも登場。  
(左) アヴェマリアと春の日の花と輝くの2曲をクラリネットで演奏しました。

## 院内行事のお知らせ

1月 お誕生日会  
14時30分  
2階・2号館  
1月14日(木)  
※15時から  
3階・4階  
1月19日(火)  
5階・6階  
1月26日(火)  
ミニコンサート  
14時30分  
2階  
1月6日(水)

2月 お誕生日会  
病棟ごとの日程、  
開催時間は現在調整中  
です。  
決まり次第、院内  
掲示やツイッター  
を通じてお知らせ  
いたします。  
お電話でもお問い  
合わせください。

### 保険証について

毎月一度、保険証の確認を行っております。なお、保険証にご変更がない場合も拝見しています。

### デイルームの機械清掃情報

時間は13時15分から14時45分です。  
2階 1月21日(木) 5階 1月12日(火)  
3階 1月18日(月) 6階 1月5日(火)  
4階 1月14日(木) 2号館3階 1月25日(月)  
2号館4階 1月29日(金)